

当センターでの発達障害児に対する地域との連携について

当センターは特に医療ケアの重い方を積極的に受け入れるとともに在宅支援に力を入れることを目的として、病床 120 床、外来 100 人/日、通所 35 人/日等を事業規模とし、総合療育センターとして設置されています。重症心身障害児（者）の診療に加え、支援ニーズが高い発達障害児に対しても診療や支援を行っています。

1 支援のニーズの増加

近年、発達障害児の受診需要は非常に大きく、当院でも 2005 年開設以来、専門外来の受診希望者は増大し、年間外来新患者のうち発達障害児の割合は 7 割を超えています。我々のセンターが位置する東京都の東部地区でも、各地で取り上げられている外来待機児童の問題が指摘されており、ご家族や地域からの発達障害の診断や対応についての支援ニーズは高く、当センターだけでは十分に答えられていない現状があります。

そのため、当センターでは、医療ソーシャルワーカー（MSW）を中心に、少しでもニーズに答えられるよう、個々の症例に応じて柔軟に対応しています。例えば、診断前から地域の療育機関や教育機関に関する情報提供や対応など個別に調整を行っています。

2 就学児童の支援

発達障害児の医療機関へ相談に来られる時期としては、3 歳健診などで発達の遅れを指摘され来院されるケースが多くみられます。しかし、未就学の集団生活や家族との生活のなかでは問題視されず、学校生活において症状が顕在化することがあり、そのため、当センターでは、学校の勧めによる来院が 3 割にも及んでいます。また、その就学児童の診療経過の中で、同一地域の中でも、症例ごとの支援状況、スクールカウンセラーの関与や通級利用の有無など、学校ごとの支援に様々な違いがみられており、特に未診断の症例においては支援が進みにくいということがあります。

そのため、発達障害児の特別支援教育に携わる指導者の発達障害の理解を深め、障害児の児童たちが暮らす地域との連携を図り、診断前支援、日常的な支援提供が行われることが大切と考え、その取り組みとして、2017 年（平成 29 年）より、学校関係者を対象に発達障害児合同研修会を開催しました。医師以外にも、リハビリスタッフを中心にさまざまな職種のスタッフが携わり、医療・療育・福祉と様々なレベルでの情報提供を行っています。この場をお借りし、その取り組みをご紹介したいと思います。

対象

地域特別支援教室、情緒障害等通級指導学級に関わる教職員

目標

- (1) 発達障害児の多様な支援のニーズに対応する力をつける
個々の教師や支援員の発達障害の知識向上。
学校単位での対応力の向上。
- (2) 医療機関での評価や治療に対する考え方を知ってもらう
学校側で受診を促した学童が、どのように医療機関で評価され、
どのような意図で支援を推奨するのかを理解してもらう。
- (3) 地域ごとの特別支援教育の現状を共有し、日常の支援に反映させる
各地域の特色や工夫などの情報共有。
関係機関同士の連携を深める。
当センターへの学校側からのニーズを聴取し、診療に反映させる。

＊研修スケジュール＊

一部 院内スタッフが講義

二部 情報交換やグループワーク

模擬症例の評価、問題点、指導対応について実際に討議する。

＊実際に研修に参加された方々からのご意見＊

- ・不足している知識・情報が分かり、整理する機会になった。
- ・指導にすぐ取り入れられることや自分では思いつかない工夫を知ることができた。
- ・経験の少ない教員には具体的な指導方法が参考になった。
- ・医療機関が、教員と同じ考え方で対応しており、学校での指導に自信がもてた。
- ・気になる生徒や、受診を促したい生徒は多いが、まずは学校で出来る対応を進めていきたい。
- ・生徒の学校での様子を積極的に伝達し、支援につなげたい。

実際、発達の原因になる子どもたちの中には、専門的な評価や、医療的な介入を急ぐ必要のないケースも多くみられます。この研修の取り組みが有効に活用され、専門機関で診断を受けることにとらわれず、ご家族や地域から、早期に診断前支援が開始できれば、すこしでも早く寄り添うことができるのではないかと考えています。

3 さいごに

発達障害児をとりまく様々な立場の支援者が、それぞれの立場で、子どもたちひとりひとりに寄り添うことで、よりよい支援が提供されるのではないかと思います。これからの未来を生きる子どもたちが、家庭や地域のなかで、笑顔で安心して生活できるよう願っています。

¹ 「通級」とは通常の学級に在籍しながら個別的な特別支援教育を受けることの出来る制度

参考文献

- 1) 発達障害連盟編. 重症心身障害児施設における地域連携の取り組み
『発達障害白書』2020年版. 東京：明石書店, 2019：52-53.